

教育だより

発行：芦別市教育委員会学務課

☎0124-22-2111

健やかで心豊かに学べる教育活動のために

本市の学校教育は、子どもの力を最大限引き出し、未来をたくましく切り拓いていく「生きる力」を育むため、次の4つを柱として、創意と工夫に満ちた特色ある教育活動を進めます。特に「わかる・できる・楽しい授業づくり」をねらいとした学力向上のための取組を進めてまいります。

①学ぶ力の育成

子ども一人ひとりに自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら問題を解決する思考力、判断力などの育成を図ります。

- 漢字検定・数学（算数）検定・英語検定の受検料を助成
- 学習習慣・生活習慣の改善を図ることを目的とした通学合宿の実施
- 学習サポート教員の配置
- 複数教諭による指導や習熟度別指導による授業等の指導方法の工夫改善
- 「芦別市小中連携協議会」を核とした小中学校の連携強化
- 特別支援教育学習支援員の配置

②豊かな心の育成

子ども一人ひとりの人格のよりよい発達を促すため、生命を大切にする心や他を思いやる心などの育成を図ります。

- 芦別市仲間づくり「子ども会議」の開催
- いじめ・不登校対策のため、関係機関、家庭、スクールカウンセラーとの連携の強化
- 「いじめ防止基本方針」の策定やいじめ対策組織の設置
- 「私たちの道徳」などの道徳教材の有効活用

③健やかな身体の育成

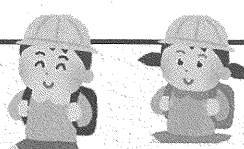
子ども一人ひとりに積極的に心身の健康保持増進を図る資質や能力の育成を図ります。

- 感染症やがんなど病気に関する指導や薬物乱用防止教室の推進
- 歯の健康を守るためのフッ化物洗口継続
- 体育の授業や体育的行事、「1校1実践」等の取組の充実による体力・運動能力の向上推進
- 望ましい食習慣を育成するための栄養教諭を中心とした食育の充実

④地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

学校、家庭、地域の三者による地域ぐるみの取組を推進します。

- 学校支援ボランティアの活用
- 学校関係者評価に基づく学校改善
- 授業や学校行事などの地域公開
- 事故や災害時における危険予測と危機回避の能力を身に付ける指導の充実
- 「芦別市通学路安全推進協議会」による通学路の安全点検



☆平成27年度の新たな取り組み☆

各種検定料の助成について

市内小中学校の児童生徒を対象として、「英語検定」、「漢字検定」、「数学（算数）検定」の受検料全額を助成します。

子どもたちの受検を促進し「合格を目指して学習し、成果が上がることで、自信をつける」という一連のサイクルを確立させることを目的としています。お子さまと、検定について合格を目指した家族ぐるみの取組方を、話し合ってみてはいかがでしょうか。



検定の内容について、詳しくは小中学校に確認してください。

小中学校の学びの連続性を目指して～先進地視察～



…教頭先生から研修を受ける様子…

本市では、小学校と中学校の結びつきを深め、学びの連続性に重点を置いた教育活動を進めるため、「芦別市小中連携協議会」を設置し、様々な研修活動を行っています。

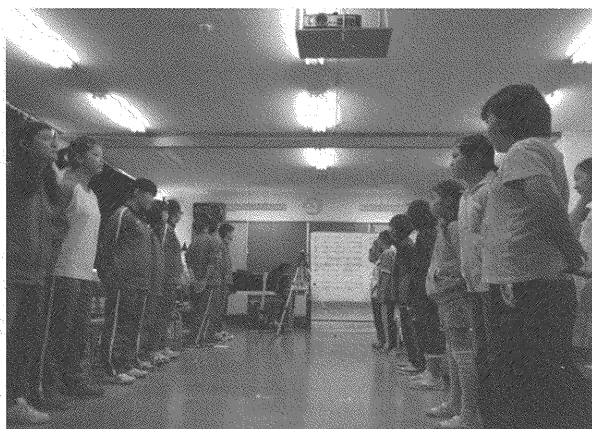
平成27年度の活動の一環として、6月18日から19日の2日間、3名の教職員が豊浦町立豊浦中学校を訪問し、小学校と中学校の連携による教育活動の歴史や具体的な取組について、学校から説明を受け、実際に交流授業を見学してきました。

～豊浦町での小学校と中学校の交流授業～

右の写真は音楽の授業を小学生と中学生が一緒にの教室で行っている様子です。

交流の中では、お互いに意見や感想を発表し合ったり、中学生がリードし、小学生に学習内容をやさしく教えるなどの取組が行われていました。

教職員は、実際の取組を見聞きすることによって、小学校と中学校の連携による教育活動を進め、成果をあげるために必要なことについての理解が深まり、実りの多い研修となりました。



…小学5年生と中学3年生の交流授業…

**本市の教育振興のため、学校、家庭、地域、行政が連携協力し、
地域に根差した教育を進めることが大切です。**

～皆さまのご理解とご協力をお願いします。～

☆芦別高校生のための新たな支援策☆

芦別高校生の学習環境の充実と学力向上を図るため、従来の通学費及び検定試験等受験料の助成に加え、今年度から「学力向上等支援事業」を新たに実施しています。

①進学塾体験

国公立大学への進学を目指す生徒が、民間予備校の夏期講習に参加する際、費用の一部を助成します。

③東京大学主催主要大学説明会

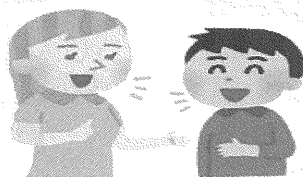
北海道内で開催する、全国の主要大学の説明会に生徒が参加するための経費を助成します。

トップレベルの大学教員による講演や、各大学の入試の選抜方法・教育内容等の説明があり、また現役大学生から様々な体験談を聞くことができます。また、各大学における個別相談ブースも設けられるなど、進学の足がかりとして期待されています。

⑤海外短期留学事業

芦別高校生が約2週間オーストラリアのシドニーで短期留学する費用を助成します。

ホームステイ体験や語学研修等様々な研修を通じて、日頃の英語の学習成果を発揮する機会を提供し、英語力の向上や国際感覚を身につけることを目的としています。



②カワリ場 イン 芦別高校

芦別高校を会場として、年齢の近い現役大学生と一緒に、「進路」や「高校生活」についての悩みなどを語り合うための開催費用を助成します。

④外国語指導助手等の配置

外国語教育の充実のため、これまでの本市の国際交流員の派遣に加え、4月からは更に1名の英語指導助手を派遣し、2名体制で外国語教育を支援しています。

この結果、道教委からの英語指導助手を含めて、**3名の外国青年**が指導にあっています。

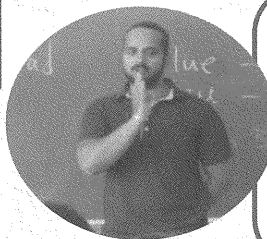
芦別市国際交流員

「**テミアン・オケイン**」さん
ニュージーランド出身です。
芦別高校では、現在月に**4回**指導にあっています。



英語指導助手

「**シフ・セングフタ**」さん
4月にカナダから来日しました。
芦別高校で週**2回**英語指導をしています。



学校支援ボランティアを募集しています！！

現在、学校支援ボランティアとして、6団体27名の方が登録し、登下校時の子どもたちの見守りのほか、スキー、柔道、書道など専門的な技術・知識に基づく指導をいただいています。

教育委員会では、放課後や夏・冬休みを利用した学習サポートや、本の読み聞かせをしていただける方など、学習支援のボランティアも募集しています。教育活動に係るボランティアに関心のある方は、教育委員会へご連絡ください。

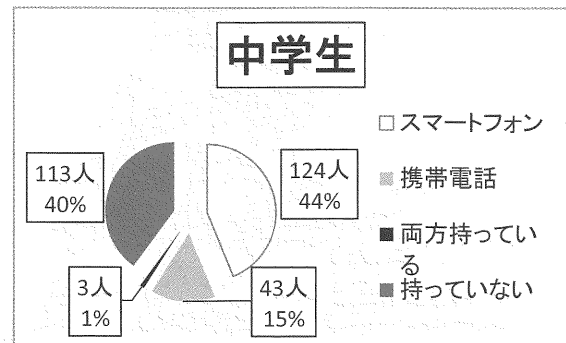
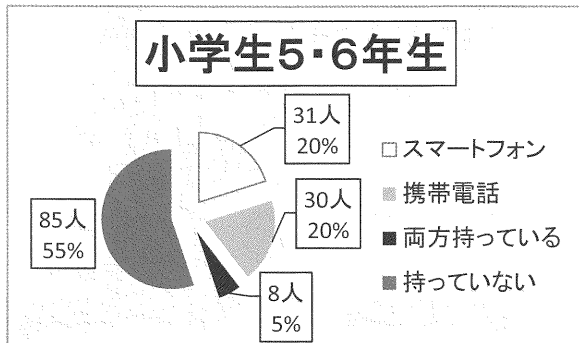


小・中学生の携帯電話・スマートフォンの所有状況等について

市内の小学校5年生から中学校3年生までを対象に、「携帯電話・スマートフォンなどのアンケート」を実施しました。平成27年度の結果は次のとおりです。



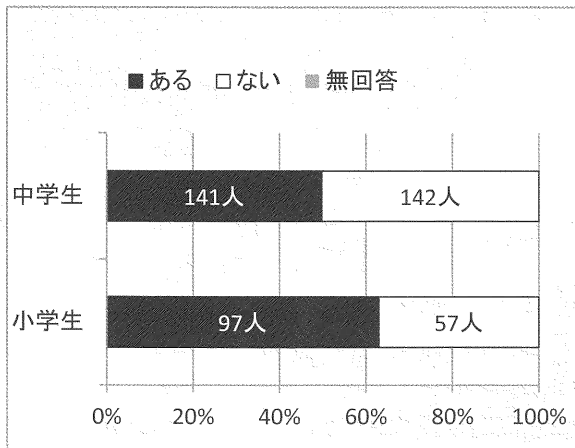
■携帯電話・スマートフォンの所有状況



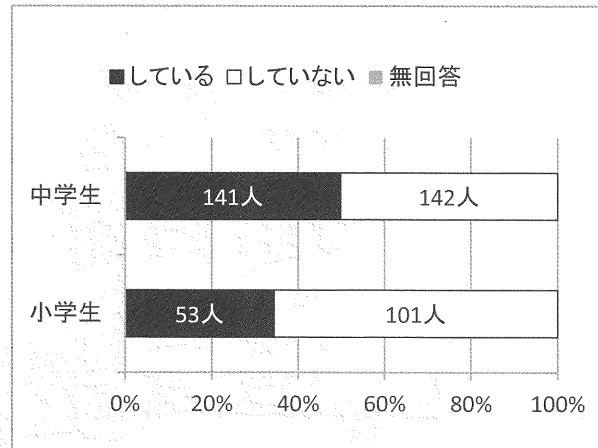
小学校5・6年生の45%が携帯電話・スマートフォンを所有しています。

中学生の60%が携帯電話・スマートフォンを所有しています。

■家庭内での携帯等の利用に関する約束ごとについて



■LINEの利用状況について



LINEを利用した中には、悪口を書かれたと回答したものが小学生が3人、中学生が9人いました。また、最近では長時間の利用やスマホ依存症などの問題も心配されています。

携帯電話やスマートフォンの利用については、家族で十分に話し合い、

- ・利用の目的や使い方を決める
- ・利用料金、時間を決める
- ・個人情報や他人を傷つける内容は書き込まない

などのきまりや約束を作り、定期的に利用状況を確認しましょう。



保護者・地域・教育関係者の皆様へ

この広報紙は、芦別市の教育の現状や課題、さまざまな政策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただくために発行しています。子どもたちの「生きる力」の向上に関するご意見を「郵送」「ファックス」「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係
電話 0124-22-2111 ファックス 0124-22-9696 電子メール gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

※教育委員会事務局学務課は、平成27年6月29日（月）から市役所3階に移転しました。

住所及び電話番号、FAX番号が変更となっております。